

第4章

水 環 境

第4章 水環境

自然界の水は汚濁物質を自ら浄化しようとする能力を持っていますが、それには限界があり、それを越える汚れがあると、元の清らかな水には戻りません。かつては産業排水が水の主な原因でしたが、工場などに対する規制が強化され、排水対策の進んだ今日では、規制対象外の事業所排水や下水道未整備地区からの生活排水が汚れの主な原因となっています。

第1節 水質汚濁の現況

1. 河川水質調査

(1) 調査目的

本調査は、市内の主要河川について、その水質環境の現況を把握するために実施しました。

(2) 調査地点

No.1 天野川(枚方市境)	No.2 天野川(逢合橋)
No.3 天野川(羽衣橋)	No.4 星田中川(天野川合流前)
No.5 江尻川(新関西製鐵(株)星田工場下流)	No.6 傍示川(大谷橋下流)
No.7 野々田川・北代水路(倉治橋北)	No.8 がらと川(倉治橋南)

(3) 調査結果(水質測定結果総括表・項目別汚濁濃度及び経年変化は資料水-1~8を参照)

水質測定項目は、大きく分けて生活環境項目・健康項目・特殊項目と分類されています。生活環境項目は天野川の基準点を対象に決められた数値(p59参照)であり、それ以外の項目は全公共用水路及び上水道水源水域(傍示川以外)として、すべてが対象になります。

生活環境項目の代表的な汚濁指標であるBOD(年平均)で見ると、No.4星田中川が最も高く(5.1mg/L)、次いで高いのはNo.8がらと川(4.9mg/L)でした。

健康項目は、測定した3地点(枚方市境、逢合橋、羽衣橋)すべて環境基準値以下でした。

※大腸菌群数に係る環境基準の見直しについて

令和4年度から、生活環境の保全に関する環境基準のうち、大腸菌群数を新たな衛生微生物指標として大腸菌数へ見直しされました。そのため、大腸菌数の経年推移については省きます。

次に各河川のまとめを報告します。

○天野川(No.1, No.2, No.3)

天野川は、奈良県より下流において生活環境項目(生活環境の保全に関する項目)では環境基準B類型(天野川のみ対象)に属しています。

環境基準と測定結果(年間平均値)を比べると、河川の汚濁指標である生物化学的酸素要求量(BOD)は3地点で1.0~1.4mg/Lであり、全てにおいて環境基準値(3mg/L)以下でした。浮遊物質量(SS)についても3地点とも2mg/Lで環境基準値(25mg/L)以下でした。大腸菌数については、枚方市境、逢合橋地点でそれぞれ250、160CFU/100mLであり、環境基準(1000CFU/100mL)以下でしたが、羽衣橋では1100CFU/100mLとなり、環境基準値を超過していました。

健康項目では、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素以外の一般的に有害物質とい

われている項目については、定量下限値未満でした。また上記3項目についても環境基準値以下でした。経年変化では、概ね横ばいで推移しています。

○星田中川 (No.4)

妙見東・南星台・星田旧村落・星田北地区の準工業及び工業地域を流下し、天野川に流入しています。

BOD及び大腸菌数が環境基準を超過していました。経年変化では、SSが減少傾向、全窒素及び全リンが増加傾向であったところ近年は減少傾向にあります。その他の項目は概ね横ばいで推移しています。

○江尻川 (No.5)

星田北地区を流下し、枚方市で天野川へ合流しており、採水地点では川幅が狭く、水量は少なくなっています。

BODが環境基準を超過していました。経年変化ではSSが減少傾向にあります。全窒素が近年減少傾向にありましたが、増加に転じました。その他概ね横ばいで推移しています。

○傍示川 (No.6)

南星台地区の南側から寝屋川市の方に流下している河川で、本調査の中で唯一寝屋川水系に属しています。

BOD及び大腸菌数が環境基準を超過していました。経年変化では、SSが増加傾向にあります。その他の項目は概ね横ばいで推移しています。

○野々田川・北代水路 (No.7)

枚方市津田地区の旧村落から工業地域・工業専用地域を流下し、交野市域では工業地域を流下しています。

BOD及び大腸菌数が環境基準を超えていました。経年変化ではSS、全リンが近年は増加傾向にあります。その他の項目は概ね横ばいで推移しています。

○がらと川 (No.8)

東倉治地区から倉治地区を通り、幾野の工業地域を流下しています。

pH及びBODが環境基準を超えていました。経年変化ではBOD、COD及び全窒素が減少傾向です。その他の項目は概ね横ばいで推移しています。

2. 地下水質調査

これまでに地下水汚染が確認された箇所周辺の周辺井戸について、今年度は大阪府による継続監視調査が1回実施されました。地下水汚染の継続監視調査を行っているのは、有機塩素化合物による汚染あった1地区と有害金属による汚染があった2地区です(表4)。

表4 継続監視調査結果

単位:mg/L

項目 地域	鉛	砒素	総水銀	クロロ エチレン	1,1-ジクロ ロエチレン	1,2-ジクロ ロエチレン	1,1,1-トリク ロロエタン	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン
幾野	-	-	-	<0.0002	<0.002	0.004	<0.0005	<0.001	<0.0005
森北	-	0.020	-	-	-	-	-	-	-
倉治	<0.005	<0.005	<0.0005	-	-	-	-	-	-
環境基準	0.01	0.01	0.0005	0.002	0.1	0.04	1	0.01	0.01

※「-」はその項目を測定していないことを示す。

第2節 水質汚濁防止対策

1. 法律・条例による規制

法律による規制としては、水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法があります。水質汚濁防止法では、有害物質などを排出させる施設を特定施設とし、この設置の届出を義務付けています。特定施設を設置している場合は公共用水域への排水量の多少にかかわらず規制されます。生活環境項目については平均排水量が30m³/日以上について濃度規制を行い、さらに、平均排水量が50m³/日以上の特特定業場については濃度規制に加えて「化学的酸素要求量に係る総量削減計画」に基づき総量規制を行っています。また、平成14年10月からは、CODに加えて窒素・リンについても総量規制が実施されています。

瀬戸内海環境保全特別措置法では、瀬戸内海の水質保全を目的とし、最大排水量が50m³/日以上以上の工場・事業場が特定施設の新・増設、または構造などの変更を行う場合、府知事の許可が必要であるとしており、許可申請時に排水量・汚濁物質などが公共用水域に与える影響について事前評価を義務付けています。

大阪府では、大阪府生活環境の保全等に関する条例で、法律の規制に加えて届出施設及び規制対象項目を追加し規制しています。

2. 水質汚濁改善の施策

本市における河川調査では、市内河川においてBODや大腸菌数が環境基準を超過しており、水質の汚濁を減らすためにも、更なる下水道の普及や、工場・事業場の水質管理の徹底などが必要です。本市における公共下水道の人口普及率は、96.5%（令和4年度：水洗化処理区域内人口普及率）であり、今後も整備を進めていくところです。また、市内の生活排水全体の対策を進める基本として、交野市生活排水処理計画が策定されています。

地下水汚染が現在確認されている地区では、確認当時に周辺への広がり調査並びに、周辺の事業所調査及び関係事業所への改善指導などを実施したのち、代表点において定期モニタリング調査を実施し、継続監視を行っているところです。

近年は、市民ボランティアによる河川清掃活動などが実施されており、市民の水を大切にしたいがこれからもますます広がりを見せていくことが、交野の水環境保全へとつながっていくこととなります。

令和4年度水質測定結果総括表

測定項目	地点番号		No. 1			No. 2			No. 3									
	河川名		天野川			天野川			天野川									
	地点名		枚方市境			逢合橋			羽衣橋									
	測定値	平均	最小値	～	最大値	測定回数	平均	最小値	～	最大値	測定回数							
環境基準値																		
生活環境項目	pH	—	6.5～8.5	8.1	7.9	～	8.3	4	8.2	7.9	～	8.7	4	8.0	7.9	～	8.1	4
	BOD	mg/L	3mg/L以下	1.2	0.7	～	1.4	4	1.0	0.7	～	1.1	4	1.4	0.7	～	1.8	4
	COD	mg/L	—	3.3	2.5	～	4.1	4	3.2	2.4	～	3.9	4	3.7	2.7	～	4.7	4
	浮遊物質質量	mg/L	25mg/L以下	2	1	～	3	4	2	1	～	2	4	2	1	～	3	4
	大腸菌数	CFU/100ml	1000CFU/100ml以下	250	78	～	500	4	160	76	～	290	4	1100	260	～	3400	4
	全窒素	mg/L	—	1.0	0.98	～	1.2	4	1.1	1.0	～	1.2	4	1.3	1.0	～	1.7	4
	全リン	mg/L	—	0.072	0.041	～	0.097	4	0.084	0.052	～	0.12	4	0.092	0.082	～	0.11	4
	全亜鉛	mg/L	0.03mg/L以下	0.009	0.005	～	0.016	4	0.007	0.005	～	0.009	4	0.012	0.006	～	0.017	4
	ノニルフェノール	mg/L	0.0006mg/L以下	<0.00006	<0.00006	～	<0.00006	1	<0.00006	<0.00006	～	<0.00006	1	<0.00006	<0.00006	～	<0.00006	1
	LAS	mg/L	0.02mg/L以下	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	1	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	1	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	1
健康項目	カドミウム	mg/L	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	2	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	2	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	2
	全シアン	mg/L	検出されないこと	<0.1	<0.1	～	<0.1	2	<0.1	<0.1	～	<0.1	2	<0.1	<0.1	～	<0.1	2
	鉛	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2
	六価クロム	mg/L	0.02mg/L以下	<0.01	<0.01	～	<0.01	2	<0.01	<0.01	～	<0.01	2	<0.01	<0.01	～	<0.01	2
	ヒ素	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2
	総水銀	mg/L	0.0005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	2	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	2	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	2
	アルキル水銀	mg/L	検出されないこと															
	PCB	mg/L	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	1										
	ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	～	<0.002	2	<0.002	<0.002	～	<0.002	2	<0.002	<0.002	～	<0.002	2
	四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	2	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	2	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	2
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	～	<0.0004	2	<0.0004	<0.0004	～	<0.0004	2	<0.0004	<0.0004	～	<0.0004	2
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下	<0.002	<0.002	～	<0.002	2	<0.002	<0.002	～	<0.002	2	<0.002	<0.002	～	<0.002	2
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	～	<0.004	2	<0.004	<0.004	～	<0.004	2	<0.004	<0.004	～	<0.004	2
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	2	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	2	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	2
	トリクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	2	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	2	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	2
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	2	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	2	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	2
	チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	1	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	1	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	1
	シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	1	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	1	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	1
	チオベンカルブ	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	～	<0.002	1	<0.002	<0.002	～	<0.002	1	<0.002	<0.002	～	<0.002	1
	ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2
	セレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2	<0.001	<0.001	～	<0.001	2
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10mg/L以下	0.80	0.77	～	0.83	2	0.83	0.78	～	0.87	2	0.97	0.73	～	1.2	2
	ふっ素	mg/L	0.8mg/L以下	0.12	0.10	～	0.13	2	0.17	0.10	～	0.23	2	0.10	0.10	～	0.10	2
	ほう素	mg/L	1mg/L以下	0.03	0.02	～	0.03	2	0.03	0.02	～	0.04	2	0.03	0.03	～	0.03	2
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	～	<0.005	2	<0.005	<0.005	～	<0.005	2	<0.005	<0.005	～	<0.005	2
特殊項目	n-ヘキサン抽出物	mg/L	—	<0.1	<0.1	～	<0.1	1	<0.1	<0.1	～	<0.1	1	<0.1	<0.1	～	<0.1	1
	フェノール類	mg/L	—	<0.005	<0.005	～	<0.005	1	<0.005	<0.005	～	<0.005	1	<0.005	<0.005	～	<0.005	1
	銅	mg/L	—	<0.01	<0.01	～	<0.01	1	<0.01	<0.01	～	<0.01	1	<0.01	<0.01	～	<0.01	1
	溶解性鉄	mg/L	—	0.42	0.42	～	0.42	1	0.27	0.27	～	0.27	1	0.29	0.29	～	0.29	1
	溶解性マンガン	mg/L	—	0.04	0.04	～	0.04	1	0.04	0.04	～	0.04	1	0.07	0.07	～	0.07	1
	全クロム	mg/L	—	<0.01	<0.01	～	<0.01	1	<0.01	<0.01	～	<0.01	1	<0.01	<0.01	～	<0.01	1
その他	陰イオン界面活性剤	mg/L	—	0.02	0.02	～	0.02	1	0.03	0.03	～	0.03	1	0.04	0.04	～	0.04	1
	アンモニア性窒素	mg/L	—	0.04	0.02	～	0.05	2	0.09	0.07	～	0.11	2	0.05	0.02	～	0.07	2
	りん酸性りん	mg/L	—	0.023	0.023	～	0.023	1	0.039	0.039	～	0.039	1	0.059	0.059	～	0.059	1

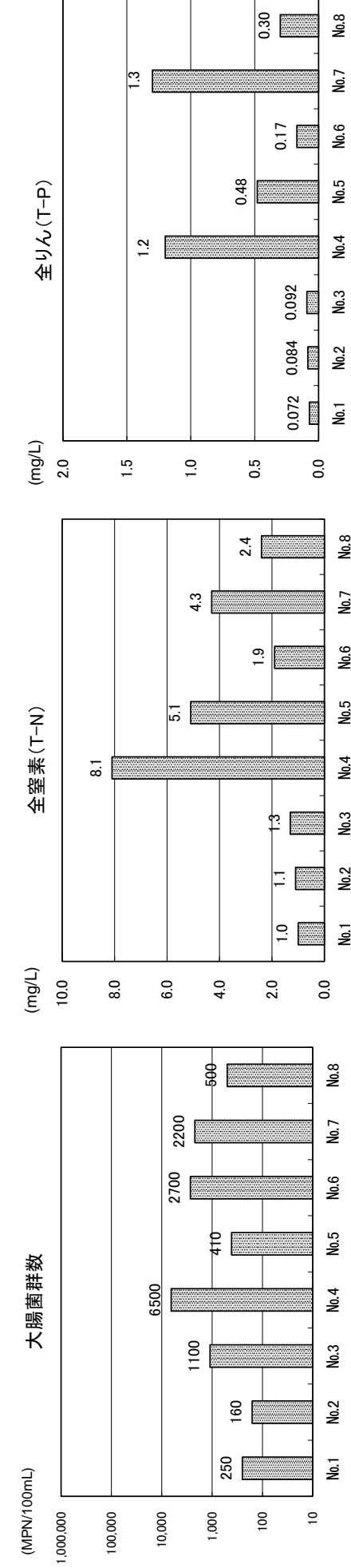
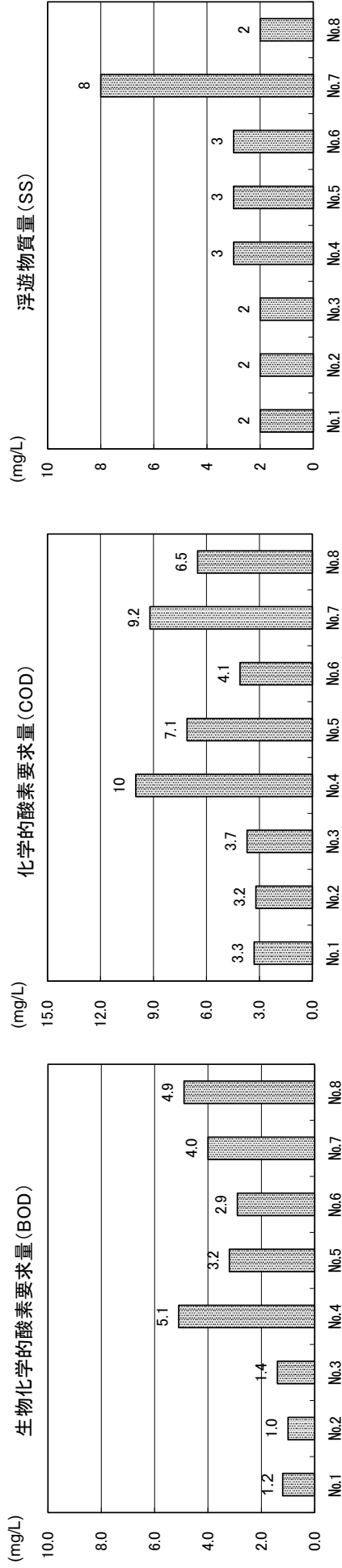
令和4年度水質測定結果総括表

測定項目	地点番号		No. 4			No. 5			No. 6			
	河川名		星田中川			江尻川			傍示川			
	地点名		天野川合流前			新関西製鐵(株)星田工場下流			大谷橋			
	測定値		平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	
環境基準値												
生活環境項目	pH	—	6.5~8.5	7.7	7.6 ~ 8.0	4	8.1	7.8 ~ 8.6	4	7.8	7.6 ~ 8.2	4
	BOD	mg/L	3mg/L以下	5.1	2.0 ~ 7.8	4	3.2	1.9 ~ 4.9	4	2.9	1.8 ~ 5.0	4
	COD	mg/L	—	10	6.2 ~ 14	4	7.1	5.6 ~ 10	4	4.1	2.3 ~ 5.1	4
	浮遊物質	mg/L	25mg/L以下	3	1 ~ 5	4	3	2 ~ 4	4	3	1 ~ 5	4
	大腸菌数	CFU/100ml	1000CFU/100ml以下	6500	810 ~ 14000	4	410	88 ~ 910	4	2700	400 ~ 9300	4
	全窒素	mg/L	—	8.1	3.4 ~ 12	4	5.1	4.3 ~ 6.7	4	1.9	1.3 ~ 2.6	4
	全リン	mg/L	—	1.2	0.57 ~ 2.2	4	0.48	0.33 ~ 0.63	4	0.17	0.12 ~ 0.23	4
	全亜鉛	mg/L	0.03mg/L以下	0.027	0.015 ~ 0.042	4	0.020	0.013 ~ 0.024	4	0.008	0.007 ~ 0.011	4
	ノニルフェノール	mg/L	0.0006mg/L以下									
特殊項目	LAS	mg/L	0.02mg/L以下									
	n-ヘキサン抽出物	mg/L	—									
	フェノール類	mg/L	—									
	銅	mg/L	—				<0.01	<0.01 ~ <0.01	1			
	溶解性鉄	mg/L	—				0.66	0.66 ~ 0.66	1			
	溶解性マンガ	mg/L	—				0.08	0.08 ~ 0.08	1			
全クロム	mg/L	—										

測定項目	地点番号		No. 7			No. 8			
	河川名		野々田川			がらと川			
	地点名		倉治橋			倉治橋			
	測定値		平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	
環境基準値									
生活環境項目	pH	—	6.5~8.5	8.0	7.9 ~ 8.3	4	8.8	8.3 ~ 9.3	4
	BOD	mg/L	3mg/L以下	4.0	1.9 ~ 10	4	4.9	2.9 ~ 9.0	4
	COD	mg/L	—	9.2	7.2 ~ 12	4	6.5	4.7 ~ 8.6	4
	浮遊物質	mg/L	25mg/L以下	8	4 ~ 19	4	2	<1 ~ 4	4
	大腸菌数	CFU/100ml	1000CFU/100ml以下	2200	780 ~ 4500	4	500	160 ~ 820	4
	全窒素	mg/L	—	4.3	3.0 ~ 6.2	4	2.4	1.5 ~ 3.0	4
	全リン	mg/L	—	1.3	0.68 ~ 2.0	4	0.30	0.24 ~ 0.39	4
	全亜鉛	mg/L	0.03mg/L以下	0.029	0.016 ~ 0.037	4	0.013	0.007 ~ 0.020	4
	ノニルフェノール	mg/L	0.0006mg/L以下						
LAS	mg/L	0.02mg/L以下							

河川地点別汚濁濃度

水-2

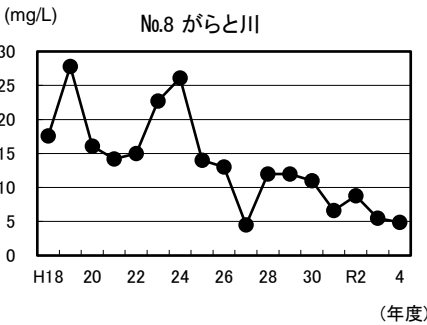
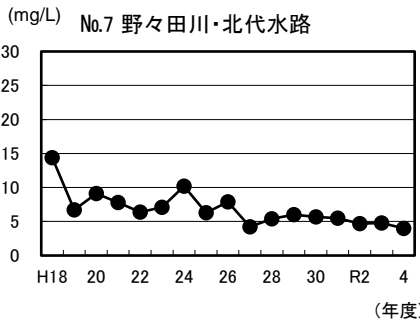
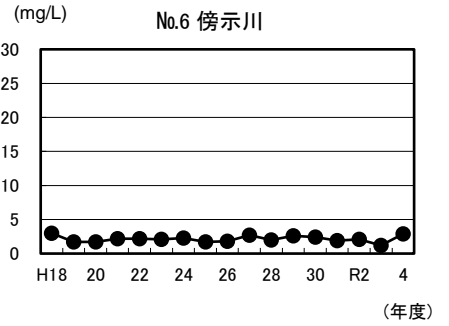
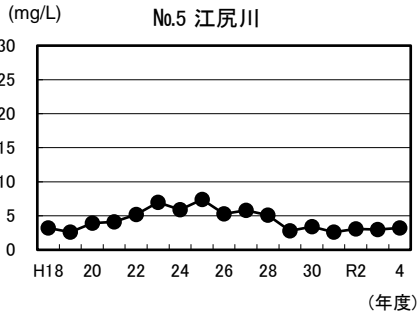
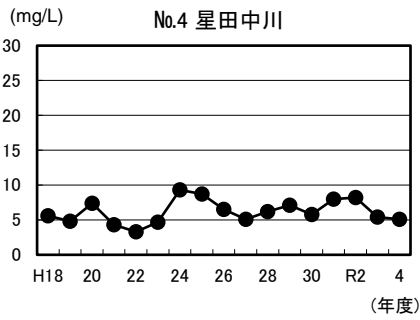
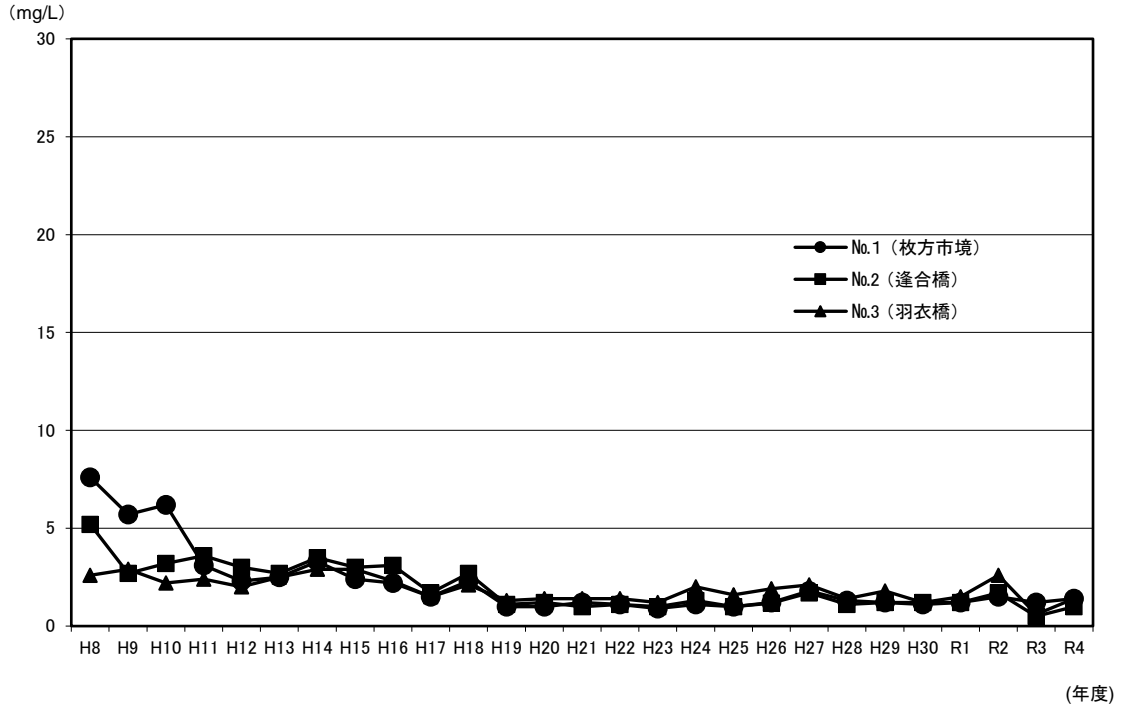


No.1: 天野川 枚方市境
 No.2: 天野川 逢合橋
 No.3: 天野川 羽衣橋
 No.4: 星田中川 天野川合流前
 No.5: 江尻川 新関西製鐵榊星田工場下流
 No.6: 傍示川 大谷橋
 No.7: 野々田川・北代水路 倉治橋
 No.8: からと川 倉治橋

BOD 経年推移

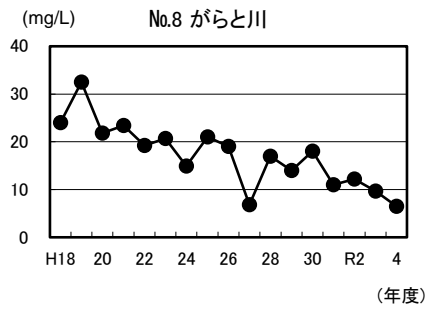
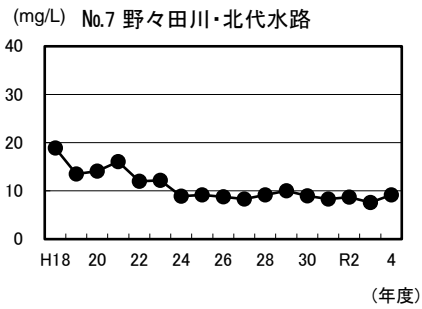
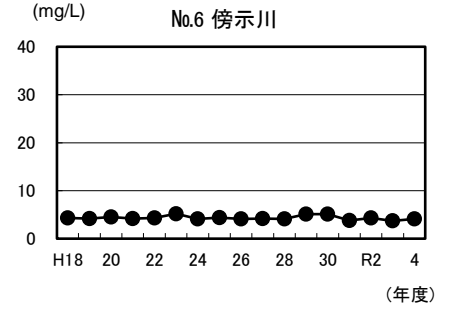
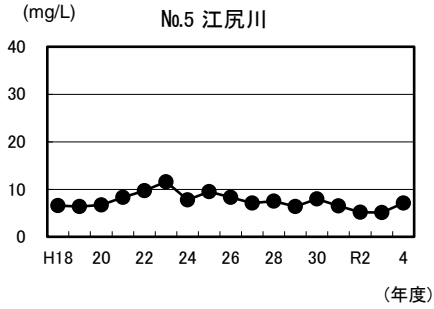
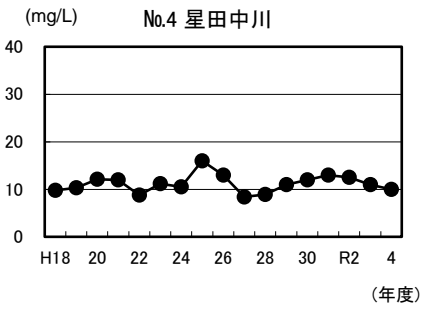
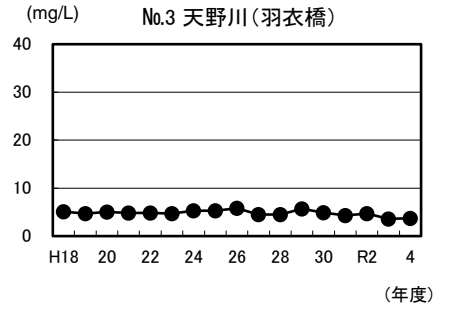
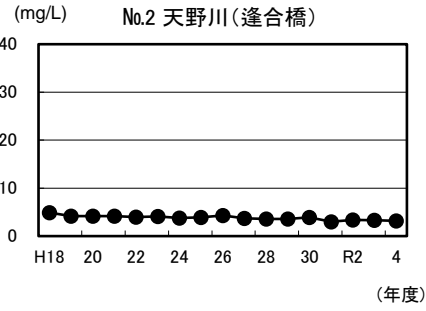
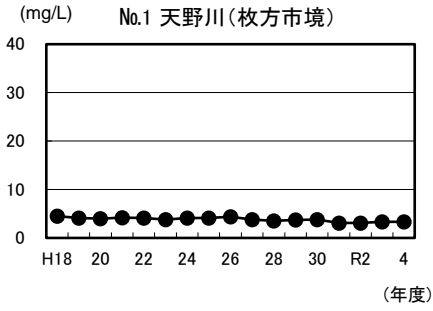
水-3

天野川



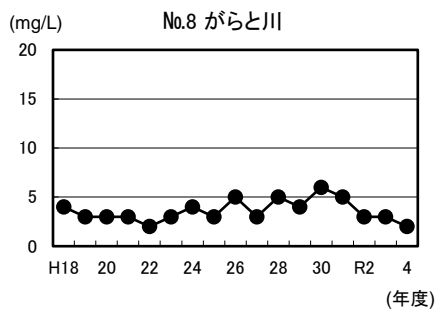
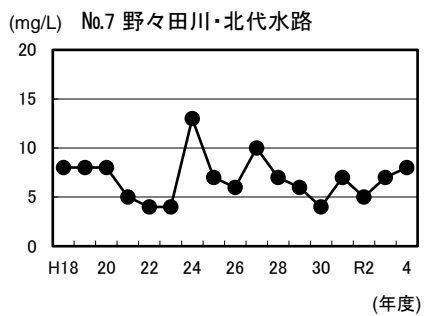
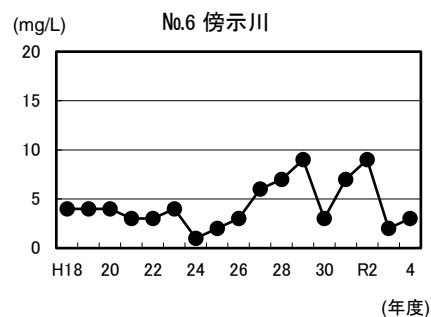
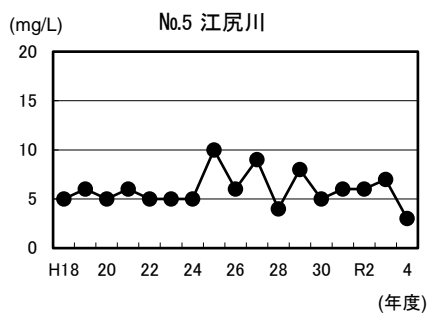
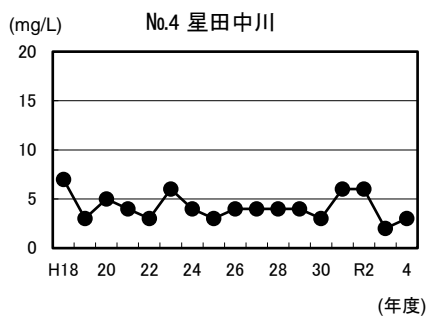
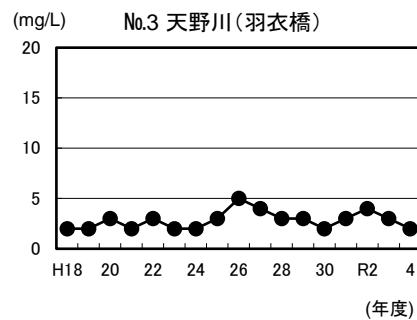
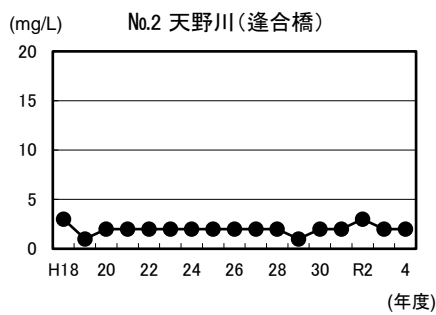
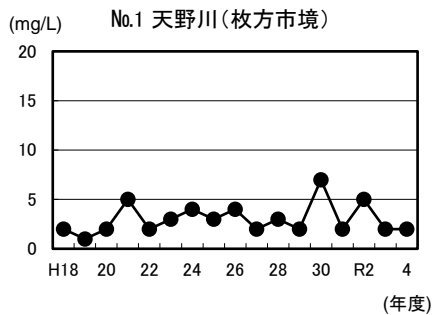
COD 経年推移

水-4



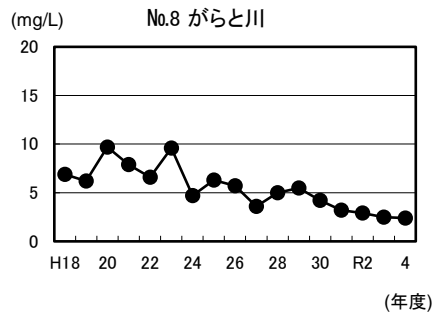
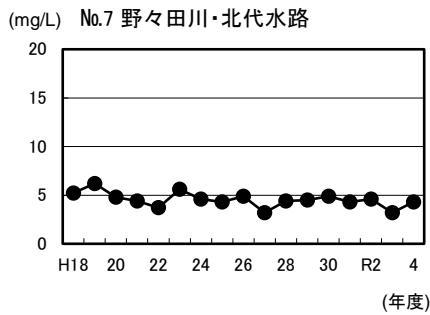
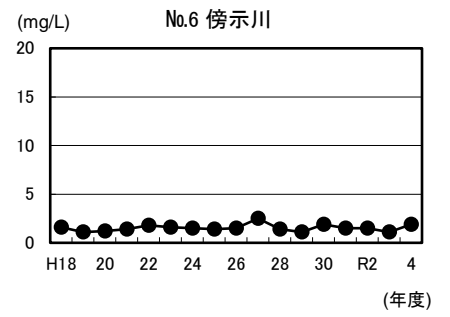
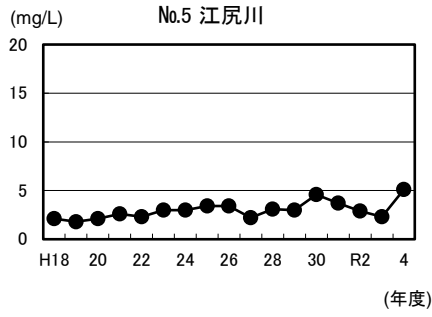
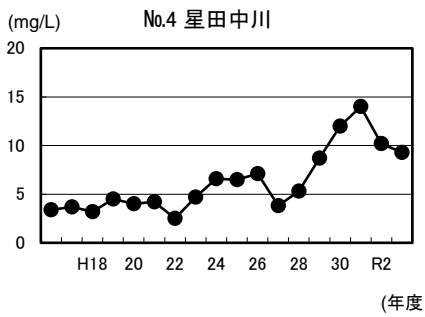
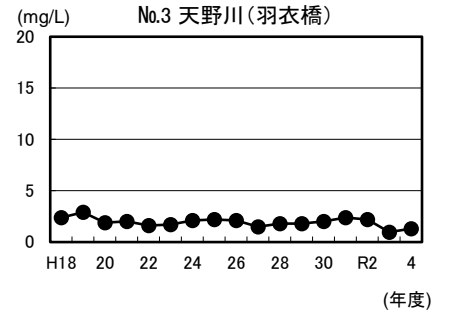
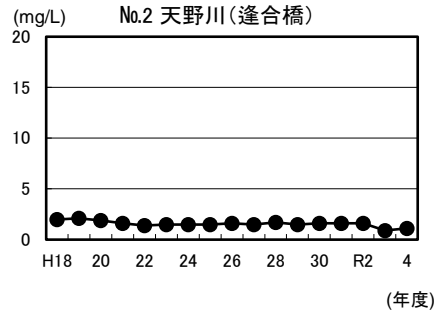
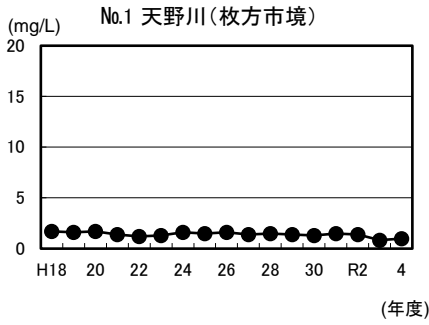
SS 経年推移

水-5



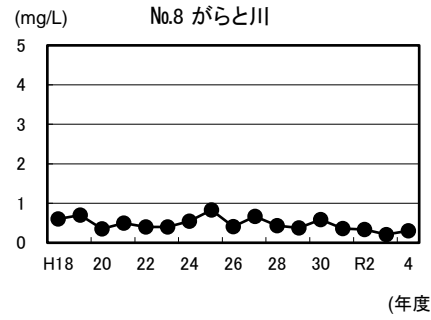
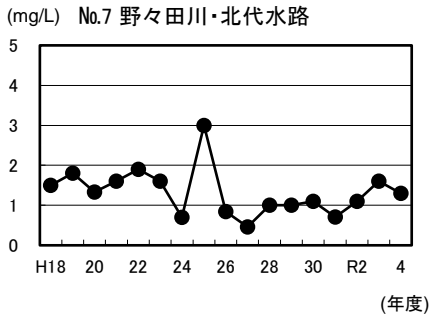
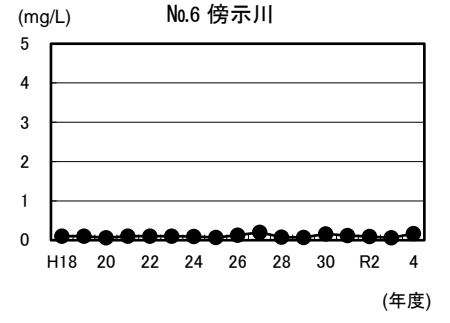
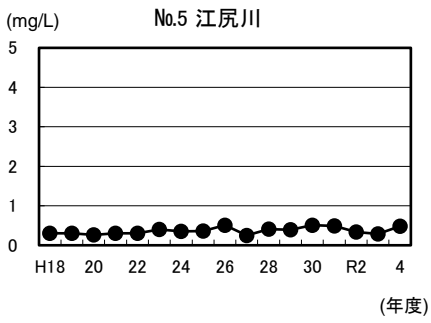
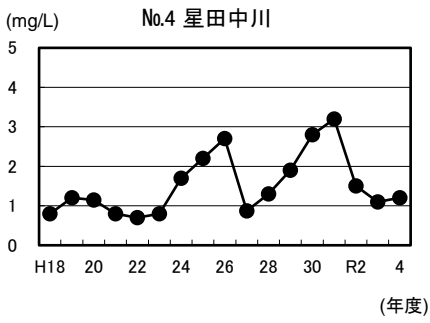
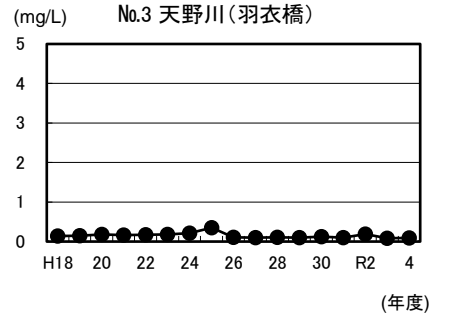
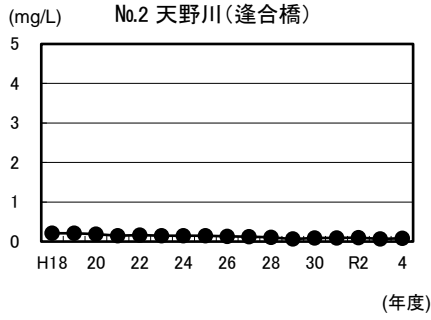
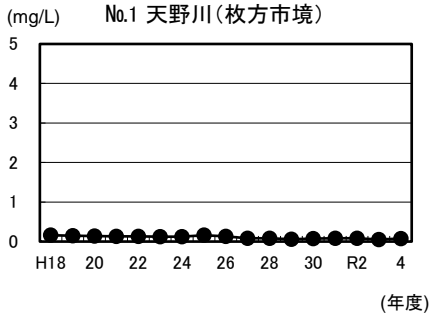
全窒素経年推移

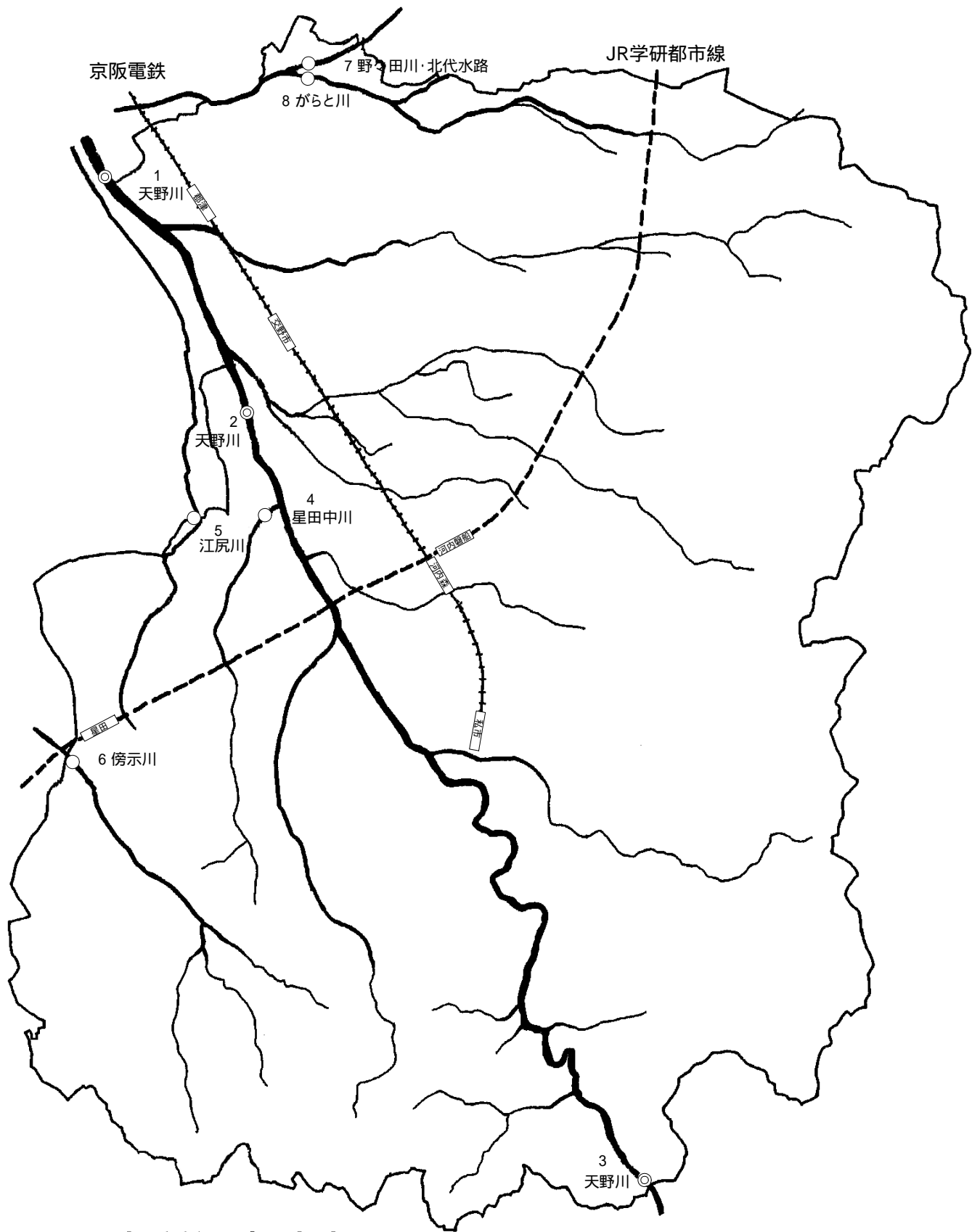
水-6



全リン経年推移

水-7





水質調査地点

河川水質調査地点
天野川水質調査地点